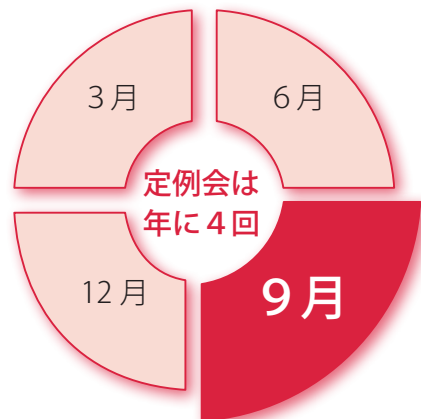




作品タイトル「葉」

作者／工藤 まあやさん(青森県立むつ工業高等学校 2年生 CG・イラスト愛好会)



第 19 号
令和 3 年 11 月号

令和 2 年度決算 P 2
第 249 回(9月)定例会議案審議 P 4
常任委員会活動報告 P 6
一般質問 P 7
審議結果および賛否一覧 P10
全員協議会、第 163 回臨時会 P11
使用済燃料中間貯蔵施設に 関する調査検討特別委員会 P11
お知らせ P12

令和2年度むつ市一般会計歳入歳出決算ほか

各会計決算議案を可決・認定！

令和2年度の一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の各決算等を審査する決算審査特別委員会（議長及び議会選出の監査委員を除く全議員20名で構成）が設置され、10月13日、14日及び15日に開催し、全ての各会計決算等について、全会一致で可決・認定すべきものと決定いたしました。

◎一般会計歳入歳出決算

歳入	463億9,879万7,288円
歳出	460億1,793万1,212円
差引	3億8,086万6,076円

※翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた
実質収支（黒字）額は、3億3,762万7,793円

◎むつ市健全化判断比率

実質公債費比率	15.4 (25.0) %
※昨年度決算	16.1 (25.0) %
将来負担比率	150.6 (350.0) %
※昨年度決算	150.9 (350.0) %

※（ ）内の数字は、むつ市の早期健全化基準を示す
※実質公債費比率：その年に負担すべき借入金の返済額の大きさを、在籍規模に対する割合で表したものの
※将来負担比率：借入金も含めた負債全体の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの

決算審査特別委員会

付託議案の主な質疑

◎一般会計歳入歳出決算 ○歳出について

総務費（川内・大畑・脇野沢地区応急対策費）

各地区に100万円の予算がついているが、緊急対応で100万円を超える事例や対応できなかった事例はあったか。

川内地区では、危険木の倒木があり、140万円の委託料が発生したため、予備費で対応した。他地区は、予算内で対応

できた。

民生費（扶助費）

住宅扶助費の限度額は決まっているのか。また、福祉施設に入所することはできないのか。

1人世帯で3万円、2人世帯で3万6000円、3人世帯で3万9000円となっている。また、福祉施設への入所等については、ケースワーカーと個別に相談していただき、適切に対応していきたいと考える。

就労自立給付金の内容と利用者数は。

生活保護からの脱却直後の不安定な生活を支え、脱却しようとする意欲を高める目的で創設された制度で、昨年度は4名に対し15万2千円を支給している。

民生費（新型コロナウイルス感染症対策費）

定額給付金等の給付率と、未申請の方への対応について。

定額給付金の給付率は99・96%、子育て世代への臨時特別給付金及び子どもみらい応援事業の給付率は100%で、定額給付金の未申請の方には、

個別に通知と訪問をしたが、申請に繋がらなかったケースもあった。

民生費（児童福祉総務費）

児童虐待防止対策支援事業の相談件数について。

昨年度の児童家庭相談は105件で、そのうち児童虐待及びその疑いがあるものを含めた相談件数は25件であり、むつ児童相談所を中心とした関係機関と連携を図りながら、対応している。

民生費（老人福祉総務費）

高齢者等除雪サービス事業の委託先と人材不足について。

むつ市シルバー人材センターに委託している。積雪量に影響される事業であり、昨年度は雪が多かったため、作業が遅れがあったとの声は聞こえているので、委託事業者と協議、検討していきたい。

衛生費（じん芥処理費）

最終処分場の廃止について。

現在、むつ地区と大畑地区の処分場は稼働しているが、川内地区と脇野沢地区の処分場は、モニタリング調査終了後の来年度には廃止の手続きができて

ると考えている。

衛生費(母子衛生費)

問 妊産婦・新生児訪問指導事業で、コロナ禍においてどのようなことを指導したか。

答 コロナの影響での不安や、外出が困難だったという声を訪問先で多く聞いた。一般的には、産後の生活、新生児の健康管理等を中心に話をしているが、コロナの影響を踏まえて、ゆっくりお話しを伺い不安な気持ちに寄り添う姿勢で対応した。



問 特定不妊治療における相談や対応について。

答 治療に関しての相談件数は多くはないが、経済的に不安などの声は伺っている。対応として、不妊相談センター等に繋げるなど、相手の方の気持ちに寄り添った対応を心掛けている。

衛生費(健康増進費)

問 保健協力員の人数と育成について。

答 220名の保健協力員がおり、年に数回集まり健康教室を企画したり、連絡協議会の総会や、下北地域の保健協力員の連絡会等の研修会に参加して育成に努めている。

農林水産業費(林業総務費)

問 むつ市森林G・I・S運用事業の効果について。

答 通常の伐採届や所有者の変更等の申込み等の内容と現地の場合の確認での使用と、市の直営の造林等の計画等の策定に活用している。

土木費(土木維持費)

問 私道等整備補助金で、審査の結果、補助金制度を利用できなかったケースがあったか。

答 令和元年度に申請した5町内会は、昨年度までに補助金で全て対応している。また相談件数が増えており、補助金制度が適用にならないケース(私道のため所有者の同意が得られない等)もあるが、町内会と相談しながら進めていきたい。

土木費(道路新設改良費)

問 浜通線融雪溝整備事業の進捗状況について。

答 令和2年度から工事を始め、

162mを整備し、総延長約2.3キロの事業で、令和6年度までの完成を目指している。

教育費(事務局費)

問 NHK交響楽団のリモート指導について、開催日によって参加人数に開きがあるが理由は。

答 開催日によって、フルートの指導、全体での合奏の指導など内容が異なるため、参加人数に開きがあった。

教育費(義務教育振興費)

問 外国語指導助手派遣事業では、年間で何時間の授業を行っているか。

答 5名の講師で各学校を回り、年間で小学校50時間、中学校18時間程度の授業を行っている。

教育費(公民館費)

問 婦人教育事業費の内容は。

答 現在7学級あり、昨年度は109回の開催で780人の参加者が、料理・手芸教室等を自主的な運営により行っており、公民館として支援している。

教育費(文化振興費)

問 二枚橋2遺跡出土品保存修

理事業の現状は。

答 平成24年9月に国の重要文化財に指定されていて、1308点のうち320点は今後の保存活用のために修復しており、今年度は25点を修復する。

教育費(新型コロナウイルス感染症対策費)

問 むつ市学生等緊急支援事業で、給付金と貸付金の対象になった人数は。

答 給付金はむつ市の奨学金を貸与されている方98名に給付、貸付は奨学金の貸与を受けていない方が対象で19名に利用いただいている。

〇歳入について

諸収入

問 奨学金貸付金元金収入滞納者の人数について、また本貸付金はむつ市債権管理条例の対象となるのか。

答 昨年度は、73名の滞納者がおり、むつ市債権管理条例の対象になる。

地方交付税

問 普通交付税が人口の減少に関わらず増えているが要因は何か。

【問】 普通交付税は、人口減少によりこれからも緩やかに減少していくが、令和2年度は基準財政需要額において地域社会再生事業費が新たに算定項目として追加されたことから、総体的に増額となっている。

【その他】

【問】 原子力関連交付金の総額は、原子力関連交付金の総額は22億4213万8949円で、決算歳入総額に対する割合は、4・8%になる。

◎後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

【問】 黒字になった主な要因は。

【答】 事業主体である青森県後期高齢者医療広域連合への納付金については、保険料で支払う形態となっている。基本的には赤字にならないように金額が調整されたもので、結果黒字になった。

◎魚市場事業特別会計歳入歳出決算

【問】 魚市場の建設事業が終わっても、このまま特別会計として管理していくのか。

【答】 特別会計でなければならぬものについては、地方財政法

施行令第46条に市場事業が規定されていることから、魚市場事業については、今後も特別会計で行うこととなる。

◎下水道事業会計決算

【問】 下水道への接続と、接続率が伸び悩んでいる理由は。

【答】 水洗化率（下水道へ接続している人口の割合）は令和2年度で46・8%で、下水道接続対象者の方には、補助金制度の説明や文書等を送付したり、広報誌やホームページ等でお知らせして下水道接続のお願いをしている。伸び悩んでいる理由として、接続する際に工事費等の負担が生じることなどの経済的な状況も考えられる。

【問】 高齢化や人口減少等で、接続率の上昇が見込めないのであれば、一定のところまで下水道の拡大を止めるべきではないか。

【答】 いずれは、事業の推進の判断する時がくると思うが、現在目標としている経費回収率の向上により、下水道収入で日常の運営を賄える状況を目標に整備を進めている。

第249回定例会
令和3年9月28日～10月22日

むつ市議会第249回定例会が去る9月28日から10月22日までの25日間の会期で開かれました。

【問】 今定例会には、議員提出議案を含む21議案5報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・承認・報告されました。

議案審議での主な質疑

【議案第55号】令和3年度むつ市一般会計補正予算
（1億7482万4000円の増額補正）

【問】 プレミアム付商品券の利用可能期間に年末を入れなかった理由は。

【答】 消費喚起が目的の事業であり、消費が多い年末ではなく、消費が冷え込む1月からと設定したものである。

【議案第57号】むつ市犯罪被害者等支援条例

【問】 本条例の制定に至った背景について。

【答】 青森県では、令和元年12月に青森県犯罪被害者等支援条例を制定、令和3年3月に青森県犯

罪被害者等支援推進計画を策定している。犯罪被害者等の支援については、国・県・市町村・関係団体等が相互に連携し、支援体制の充実を図る必要があることから条例を制定するもので、県内ではむつ市が初の条例制定である。

【議案第61号】むつ市過疎地域持続的発展計画について

【問】 主な変更点について。

【答】 異なる3地域の特性や現状、今後の展望、ジオパークを活用した取組みについて記載するなど、新たな視点を取り入れた計画となっている。

【議案第62号】令和3年むつ市一般会計補正予算
（2億7520万4000円の減額補正）

【問】 歳入で地方創生拠点整備交付金が約3億5000万円、歳出でむつ下北未来創生キヤンパス整備事業費が約6億2000万円減額になった理由と事業に与える影響について。

【答】 むつ下北未来創生キヤンパス整備事業費は、令和3年度の当初予算に計上をしたが、その後、国の令和2年度補正予算の

交付金事業として3月12日に採択を受けたことから、3月定例会に追加の補正予算として計上し、事業費を令和3年度へ全額繰越した。現状、予算が二重計上となっていることから、工事請負費と委託料合わせて6億9798万2000円を、歳入では地方創生拠点整備交付金3億4899万1000円と文化会館整備債を減額するものである。

歳出では事業費6億9798万2000円の減額と備品購入費7649万1000円の増額により、その差額として6億2149万1000円の減額補正となったものである。なお、事業に与える影響はない。

【議案第64号】令和2年度むつ市一般会計歳入歳出決算

問 新型コロナウイルス感染症による市の事業及び財政計画等に与えた影響と新型コロナウイルス感染症対策に要した財源の国・県負担金、一般財源等の内訳は。

答 予定していた夜景サミット、全国名月サミットや斗南藩立藩150周年記念事業など様々な

イベントが中止や延期となった。市民の皆様の笑顔や思い出づくりの事業の多くを実施することができなかった。

財源の内訳は、国の事業である特別定額給付金、子育て世帯への臨時給付金事業及び新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業についてほぼ全て国費により賄われ、市の事業については事業費総額約14億8200万円となっている。国からは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金11億3882万9000円が交付、青森県からは、新型コロナウイルス感染症対策緊急包括支援事業費補助金1311万6000円、新型コロナウイルス感染症対応地域経済対策事業費補助金7007万円が交付されている。市の財源としては、育英基金繰入金が3912万円、地域振興基金繰入金が548万円、新型コロナウイルス感染症対策として市民の皆様から頂いた寄附金が972万円、水道料金減額分について水道事業費会計から1億39万9000円となり、

残る約1億52万円は事業の中止や延期などにより財源を捻出した。

問 実質単年度収支において大きな黒字決算となったことは財政健全化対策の成果だと考えるが、各種対策の実績及び評価を伺う。

答 5つの財政健全化目標を掲げて取り組んできた。

1点目の単年度収支の黒字確保については、実質収支が3億3762万円黒字となり、平成22年から11年連続の黒字となった。2点目の財政調整基金の着実な積立については、令和3年度を目標としていた10億円の積立てを1年前倒しで達成した。3点目のむつ総合病院に対する債務負債行為の履行は、計画どおり1億4000万円を履行した。4点目の大畑診療所の資金不足解消については、1億8579万8000円を解消し、残りの約1000万円については今年度の支出により、既に解消している。5点目の健全化判断比率の改善については、実質公債費比率、将来負担比率とも前年度より改善してい

る。

評価としては、財政健全化対策として掲げた目標の全てを達成している。

問 新型コロナウイルス感染症に関係する経済対策を進めるに当たっての事業選定や実施のタイミング等の考え方について。

答 市民の皆様、事業者の皆様、経済団体の皆様からの切実な要望をはじめ、年間を通じたアンケート調査、意見交換の機会を通じて感染症による影響を把握するとともに、感染状況や今後の予測を基に、市民の皆様の命と暮らしを守るための市独自の対策を迅速かつ的確に実行することができたと考えている。

【議案第74号】令和3年度むつ市一般会計補正予算

問 (1億768万円の増額補正) 災害見舞金の支給方法と日程はどのようになっているか。

答 事前に申請書を対象者に郵送するが、赤川地区においては、個別に対応する。日程は11月上旬から申請書を受け付けし、支給していく。

常任委員会

付託議案の主な質疑

【総務教育常任委員会】

○10月13日付託議案審査

付託された5議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第56号 むつ市産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例

問 賦課初年度から3年間の課税を免除ということであるが、課税が免除される総額はいくらになるのか。

答 現在、対象となる事業所がないことから、課税免除額の想定はしていない。

議案第57号 むつ市犯罪被害者等支援条例

問 条文中の市民及び事業所の責務の中に市が実施する犯罪被害者等支援に関する施策に協力するよう努めるとあるが、どのような施策を想定しているのか。

答 新たに犯罪被害者等支援ハンドブックを作成し、広報等

で周知することにより、当該施策について市民の皆様にご理解をいただきたい。

また、現在の想定では市民が利用する窓口等への配置やホームページ等で公表していきたいと考えており、今回、条例制定が県内初であることから、むつ警察署及び関係機関とも連携を強化し、市民の皆様にはわかりやすく伝わるよう努めていきたい。

問 犯罪被害者等支援の対象になる方へのプライバシーの保護及び個人情報管理等について。

答 犯罪被害者等から相談等があった場合には、適切に相談窓口を紹介するなど丁寧に対応していきたい。



○所管事務調査

・利用されていない公共施設の現状と今後について

【産業建設常任委員会】

○付託議案審査

付託された議案はありませんでした。

○所管事務調査

・令和3年8月9日むつ市・風間浦村豪雨災害に係る農林水産業等の被害状況と今後の対応について

【民生福祉常任委員会】

○10月13日付託議案審査

付託された2議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第58号 特別災害による被害者に対する介護保険料減免の特別措置に関する条例

問 家屋が被害を受けたことにより、現在むつ市に居住していない方も対象になるのか。

答 当市に住所がある方は対象となるが、転出した方は、転出先の市町村で介護保険料が賦課されることになるため、その場合は当市で賦課していた介護保険料が減免の対象と

なる。

問 令和3年8月9日からの豪雨災害による本条例の対象者について。

答 現時点での対象者は13世帯18名、減免の総額は64万9200円であり、その内訳は、10割減免が17名で60万8100円、5割減免が1名で4万1100円である。

問 令和3年8月9日からの豪雨災害で被害を受けた方々の現在の介護保険料の状況について。

答 むつ市介護保険条例の規定によりなされた特別災害に係る減免申請は、本条例の相当規定によりなされるものとする経過措置があることから、既に減免申請された方々については、本条例制定後に遡及して減免が適用されることとなる。

○所管事務調査

・令和3年8月9日むつ市・風間浦村豪雨災害に係る民生部の対応について

ここが聞きたい！

一般質問

議会ホームページでは、

紹介できなかった質問内容を公開しています

一般質問のページは



こちらから↑

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。市内での新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえ、人が集まる機会を少しでも減らすといった趣旨で、第248回定例会に引き続き、一般質問の時間を1人30分以内とし、2日間にわたり12人の議員が活発な論戦を展開しました。



無党派
杉浦 弘樹

問

ホタテガイの調査・研究や残渣問題における市の取組と見解について。

答

調査・研究に関する市の取組は、毎年春と秋に、県、漁業協同組合、市が連携をして、養殖ホタテガイ実態調査を実施しているほか、調査結果の報告会議に出席し、ホタテガイ成育状況や適正な養殖管理等の情報収集をし、漁協及び漁業者と情報共有を図っている。また、養殖残渣処理については、平成30年度に川内町漁協が養殖残渣の堆肥化事業を開始し、現在も取組を進めている。脇野沢地区は、養殖残渣の発生量が少ないことから、コストの低い焼却処理を進めており、今年度、脇野沢漁協では、養殖残渣の除塩乾燥ヤードの整備をしている。市では、引き続き適正で効率的な養殖残渣処理を関係機関と連携して研究してまいりたい。



市誠クラブ
佐賀 英生

問

災害が予想される場合の連絡体制と、県の対応について。

答

災害が予想されると、防災担当職員が警戒体制に入り、危険度が高まると、青森地方気象台とのホットラインで確認すると共に、関係機関から情報収集を行い、マニュアルに基づいて全庁挙げて対応をする。

問

災害時にみられた、冠水地域の車両通行について。

答

交通規制は利用者の交通安全の確保又は、緊急車両の通行確保の目的のため、道路法、道路交通法に基づいて行われており、早目の判断は難しく、規制されていない場合は、無理な通行は自己判断でお止めいただきたい。



未来への軌
岡崎 健吾

問

燧岳周辺地域地熱開発事業について。

答

令和3年度の事業実施状況は、確認された地熱の広がり及び亀裂帯を探す目的で、昨年度とは違う方向へ約1800mの試掘を実施している。

問

市内海水浴場の開設日数及び所管課が3部4課となっていることによる開設期間の相違について。

答

今後は、極力開設期間を小中学校の夏季休業に合わせていくよう考えている。また、所管課が3部4課となっていることについては、今後検討していく。



自民クラブ
濱田 栄子

問 二枚橋小学校閉校後の利活用について。

答 二枚橋小学校の閉校に当たっては、地域の方々の住民説明会を2回行ってあります。その際の協議の中で、二枚橋地区町内会より閉校後の校舎の一部を二枚橋地区公民館の代替施設として利用したいとの要望があり、最優先で考えていきたいと答えております。二枚橋小学校は築26年ではあるものの、今後も十分に利活用可能な建物であります。地区住民の方々の集会施設としての役割を担うことを前提に他のスペースの有効活用についても検討してまいりたいと考えております。

問 国の重要文化財の二枚橋2遺跡出土品1308点の展示、体験館としての活用は。

答 提案の件も含めまして様々な角度から検討してまいりたいと考えております。



市誠クラブ
東 健 而

問 災害時応援協定の現状並びに今回の豪雨災害における協力期間と協力団体への費用負担について。

答 現在、44の災害時応援協定を締結しており、民間に協力要請したものは、公共土木施設等の応援対策業務、災害家庭ごみの収集運搬及び水道施設の応急復旧活動等の6協定にわたり、4協定4団体及び2協定6社に協力要請をした。

問 災害ゴミの収集方法の周知は文書で通知すべきでは。

答 広報については、今後、被災者に確実に伝わる方法を検討していく。



無党派
工藤 祥子

問 東通原発で事故が発生した時の「むつ市原子力災害避難計画」に実効性があるのか。

答 原子力発電所から半径30kmの圏内の住民はまず屋内退避し、その後放射線量が一定値以上になった区域については避難または一時移転することになっている。避難計画では最大5万1282人が青森市等に避難または一時移転する可能性がある。複合災害が発生し、全ての避難道路が寸断された場合は、陸路が使用不能となることから、自衛隊や民間の船舶による海路を活用することになる。避難計画の実効性を高めるために、今年度中に「原子力防災マップ」を全世帯に配布するほか、出前講座等を行う。

問 人権の問題と結びついてジェンダー平等が広がっている。パートナーシップ宣誓制度導入の考えはないか。

答 他市の動向を注視しつつ、研究していく。



無党派
佐藤 武

問 豪雨災害における住宅被害の全容について。

答 9月29日現在の住宅被害件数については、全壊7件、大規模半壊6件、中規模半壊7件、半壊45件、準半壊に至らない一部損壊274件で合計339件である。

罹災証明書の交付件数は85件、罹災証明書を取得することによって受けられる支援策は、市税の減免、住宅応急修理、公営住宅への入居、災害援護資金の貸付などがある。

水道料金・下水道使用料の減免については、罹災証明書交付対象で上下水道を使用している建物に対し申請なしで減免措置を実施する。

罹災証明書の交付申請は、被災された方の生活支援を念頭に柔軟に対応している。罹災証明書発行の申請期限はないが、各種補償や支援を受けるには期限があるものもあるので早めに申請してほしい。



市誠クラブ
野中 貴健

問 災害ボランティアについて。

答 市では災害ボランティアセンターを、むつ市社会福祉協議会に委託して立ち上げており、地域を限定し、市内、下北郡内の方、地域の企業の方々にお声がけし募集登録を行った。9月30日現在で442名が登録しており、多くの市民の皆様の御協力を得て、支援を申し込みされた34世帯の方の復旧活動を継続することができた。

問 流木の今後の処理方法とふるさと納税返礼品等への活用方法も何か検討していることがないか伺う。

答 流木の処理については、青森県と連携を図りながら、再利用を含めた適正かつ効果的な処理方法について、現在、協議・検討しているところである。また、その中で、ふるさと納税返礼品等の利用についても検討していく。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 「むつ市・風間浦村豪雨災害」の初動の対応として市長はどのような心構えで臨んだか。

答 私は発災当初から2つのことを心掛けていた。一つは人命最優先、これは、全てのことにおいて人命が最優先され、そこに人的・物的資源が集中するように取り組むという趣旨である。もう一つは現場の優先である。これは現場からの報告、映像資料、現場への視察を繰り返し行い、現場での判断を最優先として即断即決で優先順位をつけていく、という趣旨である。

問 むつ市の災害対策本部体制はスムーズに機能したか。関係機関との連携において齟齬はなかったか。

答 県や自衛隊との連携において課題が残った。特に、県との関係がスムーズではなく、初動対応に支障が出た。



自民クラブ
佐藤 広政

問 通学路の安全対策について。

答 毎年年度初めに、防災・防犯交通安全の観点で通学路を点検しております。その後、教育委員会で情報を集約し、むつ警察署、下北地域県民局の他、市関係部署による「通学路における安全点検状況に係る協議会」を開催、改善策を協議して関係機関において、可能な限り早急に対応し、通学路の安全確保に努めております。

問 大規模接種完了後の経済対策について。

答 10月2日から「プレミアム付飲食券」、8日からは「宿泊業消費喚起事業」、11月には「むつ市のうまい生産者応援キャンペーン」、12月からは「プレミアム付商品券」を先行販売し、こうした切れ目のない経済対策の展開に加え、地域に賑わいと活力を創造するイベントを順次開催していきます。



公明・自由
住吉 年広

問 運転技能向上トレーニング・アプリ導入について。

答 今後、高齢化が進むことが予想されている当市において、高齢者の皆様の移動手段の確保に加え、運転技能の向上は、交通安全対策として有効なものと考えておりますので、運転技能トレーニング・アプリを含めた高齢ドライバーの運転技能向上へ向けた取り組みについて、調査・研究を進めてまいります。

問 ことばの教室の取組について。

答 ことばの教室の取組についてであります。言葉に対して支援の必要な児童には、発声、発音の練習や言葉の遊び、聞く・話すトレーニングなどを通じてことばの発達を促しております。基本的には、教師と児童が1対1で教材や活動内容を工夫しながら、それぞれの教育的ニーズに応えるための指導をしております。



公明・自由
鎌田ちよ子

問 女性特有のがん対策、子宮頸がん予防ワクチンについて。

答 接種率は、平成24年度以前は40%程度で推移し、国の積極的勧奨の差し控えて平成25年度以降は約1%に落ち込み、今年度8月末の接種率は3.5%となっている。接種機会を逃がした女性に対する支援「キヤッチアップ接種」については、国の方針に基づき適切に対応していく。

問 市民の健康を守る取り組み。特定健診の充実について。

答 国保被保険者の令和2年度医療費は約41億1478万円。生活習慣病疾患の医療費約10億5975万円とがん等の医療費約8億3889万円が大きなウエイトを占めている。今後は、Aーを活用した受診勧奨や特定保健指導とウォーキングアプリ等を利用し、平均寿命や健康寿命の延伸につなげていきたい。

第249回定例会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・認定・承認した議案等】

※『報』→報告、『議』→議員提出議案

議案	議案の名称	議決結果
55	令和3年度むつ市一般会計補正予算	可決
56	むつ市産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例	可決
57	むつ市犯罪被害者等支援条例	可決
58	特別災害による被害者に対する介護保険料の減免の特別措置に関する条例	可決
59	むつ市職員の特殊勤務手当の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
60	むつ市過疎地域自立促進基金条例の一部を改正する条例	可決
61	むつ市過疎地域持続的発展計画について	可決
62	令和3年度むつ市一般会計補正予算	可決
63	令和3年度むつ市介護保険特別会計補正予算	可決
65	令和2年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定
66	令和2年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定
67	令和2年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定
68	令和2年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定

議案	議案の名称	議決結果
69	令和2年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認定
70	令和2年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について	可決
71	令和2年度むつ市水道事業会計決算	認定
72	令和2年度むつ市下水道事業会計利益剰余金の処分について	可決
73	令和2年度むつ市下水道事業会計決算	認定
74	令和3年度むつ市一般会計補正予算	可決
報22	令和2年度むつ市一般会計継続費精算報告書	報告のみ
報23	令和2年度むつ市健全化判断比率について	報告のみ
報24	令和2年度むつ市公営企業会計資金不足比率について	報告のみ
報25	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告のみ
報26	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和3年度むつ市一般会計補正予算)	承認
議6	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書	可決

【賛否が分かれた議案】

議案	議案の名称	議決結果	新風むつ			市誠クラブ			自民クラブ			未来への軌			公明・自由			全会に賛しない議員							
			齊藤孝昭	山本留義	富岡幸夫	佐賀英生	東健而	野中貴健	浅利竹一郎	佐々木肇	大瀧次男	濱田栄子	佐藤広政	原田敏匡	岡崎健吾	佐々木隆徳	富岡直哉	村中浩明	鎌田ちよ子	白井二郎	住吉年広	佐藤武	工藤祥子	杉浦弘樹	
64	令和2年度むつ市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議決日は議会最終日の10月22日(ただし、議案第55号は9月28日に議決、議案第62号、報告第22・25・26号は10月13日に議決)

※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、『退』は退席、『除』は除斥、議長(大瀧次男)は採決に加わらない

★なお、各議員の会議への出欠状況についてはむつ市議会ホームページに掲載しています →→→



全員協議会

全員協議会が去る7月15日に開かれ、市長より「青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画(案)に係る市の対応について」の報告を受け、本件に対する質疑を行いました。

問 3高校が立地している自治体として、今後どのように多様な意見の吸い上げを行うのか。

答 今回、皆様からご意見を伺い、方向性を定めていきたいと考えている。少なくとも現時点で決まっていることは、明日以降、下北の町村長、教育長のところは何い意見聴取を行うこととなるので、その中でどういうところに結論を求めていくのかということについて議論を深めていきたいと考えている。

問 これは青森県が決めることであるため、青森県議会が当然関わってくるものだと思う。お願いをしても、通らないという事は、むつ・下北地区選出の県議会議員とのやり取りも必要になってくると思うが、その考え方をお知らせいただきたい。

答 青森県議会議員の皆様には、協力いただきたいと思っております。我々は要望の内容も固まりつつある段階で、しっかりと協力の要請をしていきたいと思っております。

第163回臨時会

むつ市議会第163回臨時会が去る8月24日に開かれ、上程された4議案5報告、議員提出議案5号は審議の結果、全会一致で可決・承認・報告されました。

【報告第18号】専決処分事項の報告及び承認を求めることについて(令和3年度むつ市一般会計補正予算)

社会福祉協議会実施の緊急小口資金等を新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を速やかに支給するため、関係予算を専決処分したものを(204万円の増額補正)

問 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の周知、申請件数、返済等はどうなっているのか。

答 本事業への申請については4件あり、対象となる可能性がある方には案内文書と申請

書類を送付している。なお、生活困窮者自立支援金については返済の必要はない。

使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会

むつ市議会第249回定例会開会日の本会義終了後に開催された第2回の審査では、これまで市から説明・報告のあった中間貯蔵事業との関わりや経緯やむつ市使用済燃料税の進捗について、リサイクル燃料貯蔵株式会社(以下RFS社)より参考人を招き、意見を伺うことに決定され、定例会開会后に開催された第3回の審査では、実際に参考人より意見を伺い、質疑応答を行いました。

○審査の概要

第2回審査では、市側から、むつ市使用済燃料税の減免協議の進捗に関して、RFS社とは財政需要をはじめ全体の論点の解消に向け、続けて協議を行うが、期限設定をして議論を進めることが重要との考えから、論点が解消されない場合でも、年明けには総務大臣協議を始めるつもりであることなどの報告がありました。

第3回審査では、RFS社より代表取締役社長ほか3名を参考人として招き、会社の設立から現在に至るまでの経緯及び今後の事業開始の目途について、また、市との協議の進捗についての意見を伺いました。

その後の質疑応答では、委員より、地元企業としての地域振興のあり方について、財政需要に対する認識について及び税率協議が調わない場合でも、市では課税に向けた総務大臣協議に入ることに對する思いなどについての質疑があり、RFS社からは、市を二分するような様々な経緯を経て、むつ市の地元企業として設立できたことへの思いを歴代の社長から引き継がれていること、また、税率の協議における財政需要については、実質的にRFS社1社への課税となることから、税金の使い道の詳細についてやはり知って理解しておきたいこと、この協議が調わなまま市が総務大臣協議に入ったとしても、RFS社としては何も言えないことなどの回答がありました。

※ 特集記事は、お休みとなりますので、ご了承ください。

青森県教育長に
意見書を提出

8月24日に開催されたむつ市議会第163回臨時会において、22名の議員から提出された、全会一致で可決されました『青森県立大湊高等学校及び青森県立むつ工業高等学校を対象とした統合校案の白紙撤回と再考を求める意見書』を、青森県庁にて大瀧議長から和嶋延寿青森県教育長に直接手渡しにより提出しました。

令和3年8月27日 青森県庁にて



次回定例会の予定 11月24日(水)～12月17日(金)

日	月	火	水	木	金	土
11 / 21	22	23 勤労感謝の日	24 議会運営委員会 本会議(開会日) 常任委員会	25 議会運営委員会 議案熟考	26 議案熟考	27
28	29 議案熟考	30 議案熟考	12 / 1 議案熟考	2 本会議(一般質問)	3 本会議(一般質問)	4
5	6 本会議(一般質問)	7 本会議(一般質問)	8 本会議 常任委員会	9 常任委員会	10 議事整理	11
12	13 議事整理	14 議事整理	15 議事整理	16 議事整理	17 議会運営委員会 本会議(閉会日)	18

編集後記

市民の皆さまには、いつも「議会だより」を拝読いただき心より感謝申し上げます。
「コロナ禍での生活が続き心身ともに疲れている状況とは思いますが、他地域の方からむつ市のコロナ対応に係わる施策や住民の皆さまの行動についてお褒めの言葉を頂きました。「迅速」「市民力」「信頼関係」すべては市民と行政が一体となり取り組んだ成果と確信しています。今後もコロナ禍が続く可能性はありますが、むつ市発展のため議会としましても精一杯の活動を実践して参りますので市民の皆さまもご愛顧くださり、下北の出来秋を楽しんで頂きたいと思っております。
(斉藤 孝昭)

むつ市議会の詳しい情報は、「むつ市議会ホームページ」をごらんください。

また、「むつ市議会公式フェイスブック」でも情報をお伝えしていますので、あわせてごらんください。

むつ市議会

検索

ホームページ

公式フェイスブック

報 職 会 報 員 委 員 会	委員長	原田 敏匡	副委員長	住吉 年広
	委員	杉浦 弘樹	野中 貴健	
		斉藤 孝昭	富岡 直哉	
		濱田 栄子	佐藤 広政	